※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「公共」　（帝国書院）						
副教材等	ライブ！2022 公共、現代社会を考える						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業を大事にしてください。定期考査前に重要語句を覚えることだけが勉強ではありません。授業で理解できないことがあったら遠慮せずに質問してください。教科書や資料集を読んで大事だと思う箇所はどんどん自分でチェックを入れ、主体的に学習に取り組んでください。ノートは板書を正確に記入するだけでなく、疑問や考えたこと、思い付いたことをメモすることも大事です。考えを聞いたり、文章を書かせたりすることも多いです。社会で起きていることに興味関心を持ち、普段から新聞やニュースなど報道に触れてください。

２　学習の到達目標

・現代社会の諸問題に関する基本的な知識を獲得する。様々な資料や情報を適切に取り扱い、比較検討を行う技能を獲得し、現代社会の諸問題への理解を深める。
・現代社会の諸問題について、さまざまな意見や考え方があることを理解し、それぞれの立場に立ちながら、問題の解決に向けて考える力を養う。対立する意見や考え方、資料・情報を総合的に検討し、自分なりに問題に対する判断を行い、それを外部に向けて発信する表現力を獲得する。
・現代社会の諸問題について追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質、能力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１部 私たちがつくる社会 第１章 社会の中の私たち	青年期と社会参画	a:青年期は自立や自律を図る重要な時期であることを理解できている。 b:自己形成の課題について考察できている。 c:よりよく生きることについての自覚を深められている。社会の一員としての自覚を深め、自分の生き方を選択し、自己実現がめざせている。	小テスト 定期考査	ワークシート ノートの記述	ワークシート ノートの記述
	第２章 思想から学ぶべきもの	倫理的な見方・考え方	a:古代ｷﾞﾘｼｱや中国の思想や三大宗教の内容が理解できている。 近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 b:先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気づくことができている。 先人の生き方を通して自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察できている。 c:先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている	小テスト 定期考査	ワークシート ノートの記述	ワークシート ノートの記述

※令和４年度以降入学生用

２学期	第３章 私たちの社会の基本原理	社会の基本原理と憲法の考え方	a:法などの社会規範の役割が理解でき，日常生活と関連づけて考察できている。民主政治のあゆみが理解できている。 日本国憲法の三大原理や第９条の内容が理解できている。日本国憲法で保障されている権利が理解できている。 b:民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。男女間や国籍の違いなど身近なところで人権が保障されているか新聞記事などで調べ報告できている。日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方について、自分なりに構想できている。 c:民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し，民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	小テスト 定期考査	ワークシート ノートの記述	ワークシート ノートの記述
	第２部 社会のしくみと諸課題 第１章 私たちと法 第２章 私たちと政治		a:日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。行政機能が拡大している現状を理解できている。 選挙のしくみが理解できている。政党の役割を理解できている。地方自治の現状と課題が理解できている。 b:行政機能拡大の是非について主体的に考察できている。選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができている。各党の綱領を調べ、その政策を知ることができている。日本の政治について課題を 発見し、解決する見通しが持てている。住民投票など身近な地域で			

※令和４年度以降入学生用

			行われている例を調べ、報告できている。国際情勢の変化にともない、 日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察できている。 c:模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち、裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。議会の見学や住民運動・消費者運動など、身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲を持つことができている。			
三学期	第３部 持続可能な社会の実現に向けて		a:地球環境問題、資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 b:公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 c:選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。	小テスト 定期考査	ワークシート ノートの記述	ワークシート ノートの記述

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度